

民生委員・児童委員活動の  
見える化プロジェクト  
～活動報告会～

(四條畷市・摂津市・大阪市)

B班



## ◎ 民生委員・児童委員の強み

- 社会的貢献、充実感
- 地域住民にとってなくてはならない存在
- 一人一人のニーズに向き合える存在

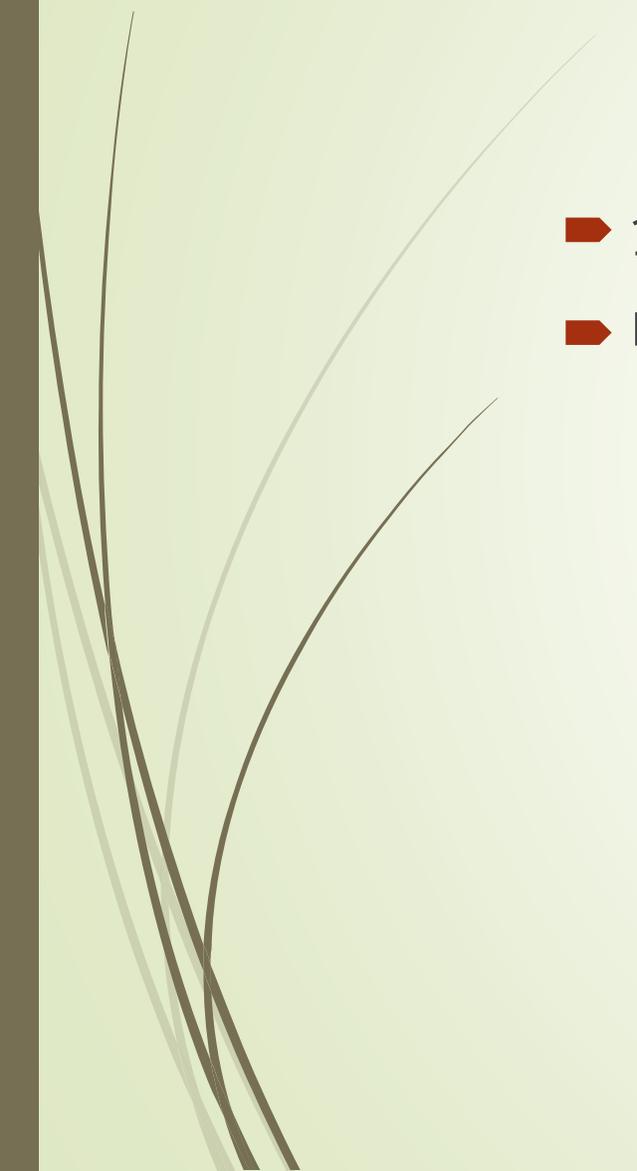


## ◎ 活動の課題

- ▶ 民生委員・児童委員について知られていない
- ▶ 仕事の多さと財源の不足
- ▶ 担い手不足（特に若者の不足）



## ◎ 課題に対しての提案

- 企業によるバックアップ
  - 幅広い年齢層の参加機会
- 



## ◎ 課題に対しての提案 ～企業によるバックアップ～

- 各種メーカーや企業と協力をし、ドリンクの配布や福祉用具の提供等を行ってもらう。  
→企業側もそのことで商品の広報や社会貢献のアピールに繋がり、メリットに。
- 協力企業の社員さんにも、その連携している地域で、余暇としてお祭りなどの行事に参加してもらう機会を設ける。  
→社会人も巻き込んだ活動を。



## ◎ 課題に対しての提案 ～幅広い年齢層の参加機会～

### ■ 大学生の参加

→ 民生委員・児童委員の活動に参加することで、単位を出す。

例) 東京五輪のボランティア参加で単位取得。

### ■ 高校生の参加

→ 進路・将来を考えるきっかけとして参加の機会を設ける。



## ◎ まとめ

- ▶ 地域で活動している民生委員・児童委員には様々な強みもある一方で、同時に課題も山積している。
- ▶ そのような課題を解決するのは私たち世代の責務であり、今後もその解決にむけて考えていきたい。

\* 本資料は「民生委員・児童委員活動の見える化」プロジェクト  
(大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課) の取組により作成したものです。